

首都圏中央連絡自動車道 飯沼川高架橋(下部工)東工事

番号	質問箇所	質 問 事 項	回答
1	特記仕様書 24-2-3 盛土工	購入材の設定されている土量変化率をご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
2	特記仕様書 24-2-5 構造物裏込め工	購入材の設定されている土量変化率をご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
3	特記仕様書 24-2-4 構造物掘削 (1) (2)  特殊部 B (AD2)	(1)のうち、特殊部 B (AD2)の作業内容 4)「構造物埋戻し部の敷均し・締固め」の埋戻し材料は、「Ⅰ期線高架下」からの運搬と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。  また、(2)のうち、特殊部 B (AD2)の鋼矢板・H鋼の種別及び長さ「鋼矢板 NS-SP-J型」の規格についてご教示ください。	特記仕様書24-2-4 (1)特殊部B (AD2) の構造物埋戻しに必要な土砂については、掘削箇所周辺に仮置きとお考え下さい。  鋼矢板 NS-SP-J型は、近接施工用土留鋼材 (ゼロ矢板)です。
4	貸与資料 数量計算書  首都圏中央連絡自動車道 飯沼高架橋 東橋梁設計検討業務 第8編 下部工・ 基礎工数量計算書 § 1. 数量総括表 積算用数量表(2)	§ 1.数量総括表の積算用数量表(2) コンクリートA1-3(m3) 鉄筋構造物(Ⅰ)の打設高さ(X3)では「20m≦H」となっていますが、各橋脚の数量計算では打設高「H<20m」となっています。また、下部工図面を見ると、「H<20m」と思われます。 § 1.数量総括表の積算用数量表(2)は、間違いと考えてよいでしょうか。ご教示ください。	閲覧資料に関する質問は受け付けていないため、お答えできません。